

学校教育目標	○自ら学び、共に進む(自学共進) 【知】前向きに学ぶ楽しさを知り、自らの人生を切りひらく力を身につけます。 【徳】挨拶と感謝の気持ちを忘れず、他への思いやりを大切に自分のよさを伸ばします。 【体】主体的に生きるため、自他の生命を尊び、健やかな心身を大切にします。 【公】社会の一員としての資質や能力を身につけ、自らの力を発揮できることを大切にします。 【開】広い視野に立ち、日本や世界の社会、歴史文化を積極的に学び、社会に貢献します。				
	学校概要	創立 79 周年	学校長 西田 寛	副校長 片山 達矢	2 学期制 一般学級: 14 個別支援学級: 5
児童生徒数: 522 人		主な関係校: 日枝小学校、太田小学校、南吉田小学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	〇〇中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<p>〈言語能力〉 〈問題発見・解決能力〉 〈自他共生力〉</p> <p>※多様な価値観を認め合うことを通して、より良い共生社会を作り出していく力</p>	共進中学校 日枝小学校 太田小学校	<p>小中学校間で学習指導や生活指導の円滑な接続を大切にし、まちに生きる子どもたちに必要な資質を育てます。</p> <p>①小中学校合同での授業研究・研修会を通して、小中一貫の視点を捉えながら、ICTの効果的な活用の充実と児童・生徒の実態に応じた指導方法の工夫・改善を図る。 ②子どもの姿をもとに協議を行い、小中一貫カリキュラムがより充実したものになるよう、交流活動の工夫・改善を図るとともに、その効果について積極的に情報交換を行う。</p>

中期取組目標	<p>○落ち着いた学習環境を作り出し、生徒一人ひとりの状況や思いを大切にしながら、前向きに学び楽しさを実感できるように学習指導の工夫を図ります。</p> <p>○集団生活の中で、多様な価値観を認め合い、他者を思いやることのできる、豊かな心を育む指導を行います。</p> <p>○日頃から生徒に寄り添う姿勢を大切にし、データを参考にしながら相談活動を積極的に行うことを通して、生徒が主体的に活動できるよう支援していきます。</p> <p>○自分の意見を発信する等地域活動に主体的に参加し、地域に根ざす学校として、保護者・地域との連携と相互理解を深めていきます。</p> <p>○学区小中学校交流を推進する中で相互理解を深め、これからの教育課題の共有化を図りながら、教育活動を進めていきます。</p> <p>○個々の生徒の教育的ニーズに応じた特別支援教育を実践します。</p>
--------	--

重点取組分野	具体的取組
<b>知</b> <b>確かな学力</b> 担当 学習指導部・教科主任会	①指導方法、指導形態を工夫しながら、生きた学力の向上を図る。②指導法の工夫につながるよう校内研究授業などを通して積極的に授業公開し、生徒が主体的に取り組める授業をめざす。③ICTを活用し、双方向のやり取りを通して自ら学習に取り組む姿勢を育てると共に、思考力・判断力・表現力の育成に努める。
<b>徳</b> <b>豊かな心</b> 担当 道徳委員会	①自他共に認め合い、多様性を尊重する心を育む。②多文化理解、多文化共生という視点も入れながら道徳人権教育を行っていく。③自尊感情を高め、コミュニケーションスキルの向上を図る。④道徳、人権教育の情報交換を小学校、地域、保護者で行い、9年間通して、自己の生き方、人間としての生き方の考えを深める。
<b>体</b> <b>健やかな体</b> 担当 保健体育科・保健指導部	①保健指導等を通して、発達段階に応じた保健教育や保健管理の充実を図る。②学校給食を通して、食事の重要性や栄養バランス、食文化等について理解し、健康で健全な食生活に関する知識や技能を身につけるとともに、健康の保持・増進を図る。
<b>公</b> <b>開</b> <b>自分づくり (キャリア)教育</b> 担当 特活指導部・総合委員会	①職業講話、職場体験、進路学習を軸として、「学ぶこと」「働くこと」の意義や役割を理解するとともに、自分を見つめ、自己の進路選択や将来を見通した生き方を考える学習を実施していく。
<b>いじめへの対応</b> 担当 生徒理解支援部・いじめ防止対策委員会	①いじめ防止対策委員会を月2回実施し、組織的な対応に務める。②あいさつ運動などのいじめの未然防止の取り組みを生徒主導で行う。③教育相談や学校生活アンケートを有効活用し、生徒が困り感を表明しやすい環境づくりに務める。④Y-Pアセスメントおよび横浜プログラムの実施を推進する。
<b>人材育成・ 組織運営(働き方)</b> 担当 学年連絡会・メンターチーム	①日々の職務の中で助言・指導を適宜行うことで人材育成を図り、また、メンターチームを活用し、教員の意識改革を促していく。②社会の変化と教育課題に柔軟に対応していけるよう、バランスの取れた組織運営を進めていく。③時間対効果、費用対効果を意識した業務改善に努める。
<b>通級指導 (センター機能)</b> 担当 通級指導教室	①支援センター機能としての訪問等を通し、共進中ブロックの小学校との連携を深め、必要な支援が小学校から中学校へ継続されるように努める。②支援センター機能における支援内容や支援状況について教室内で随時共有を図り、組織として支援できる体制とする。
<b>特別支援教育</b> 担当 生徒理解支援部・特別支援教育委員会	①特別支援教育委員会を定期的開催し、多角的な視点からアセスメントを行い、個々の教育的ニーズに応じた支援を組織的に進められるようにする。②支援の必要な生徒が多様な学びの場の一つとしてより状況にあった活用ができるよう、特別支援教室を組織的に運用する。
<b>多文化共生</b> 担当 人権担当・国際理解教室	①人権の学習や道徳を通して、自他共に尊重する意識を高め、外国籍・外国につながる生徒の増加に伴い違いを認め合うことの大切さや分かりあうためのコミュニケーション力を育む環境づくりに務める。
<b>地域連携</b> 担当 生徒理解支援部・教育課程委員会	①学校便りを毎月発行し、さらに学校ホームページによる教育活動の報告や『すぐーる』による積極的な情報発信に努める。②学校運営協議会など様々な場面で地域と連携し、外部の目から学校課題の早期発見や改善に向けての視点を獲得の機会とする。